

事業名称	介護認定審査会ペーパーレスシステム導入事業		
寄附目標額	4,859千円	古河市総合計画の位置付け	2 - 2 - 2
事業区分	デジタル技術で多様な主体と共に創るまち事業		
関連するSDGs			
			
現在抱えている課題	<p>古河市の高齢者人口の増加に伴い、介護保険を利用するための認定申請件数も年々増加しており、介護認定に係る業務量が増大している現状である。</p> <p>さらに、審査を行う委員は本来の業務を持ちながら審査会に従事しており、負担の増大により人材確保が困難になってきている。</p> <p>今後、業務量のさらなる増大や委員の人材不足により、審査が滞ることが懸念されるが、介護を必要とする人のサービス利用の妨げとならないよう、対策が必要である。</p>		
プロジェクトの概要及びポイント	<p>介護認定審査会にペーパーレスシステムを導入し、資料データの即時閲覧を可能にすることにより、申請から認定までの期間短縮を図る。特に、末期がん患者等の緊急事案に対しては、システムの活用により、直近の審査会での判定が可能となり、スムーズな介護サービスの利用につながる。</p> <p>また、審査会にかかる委員の負担を軽減することで人材を確保し、今後増加が見込まれる申請件数の増加に対応できる体制を整える。</p>		
目指す将来像	<p>ペーパーレスシステムを導入し、申請から認定までの期間を短縮することにより、介護を必要とする人が必要な介護サービスを必要な時にスムーズに利用できるようになる。</p> <p>今後見込まれる申請件数の更なる増加に備え持続可能な介護認定体制を構築し、介護をする人、介護を受ける人、誰もが安心して暮らしていける古河市を目指す。</p>		
事業担当課	高齢介護課		